



絆できらめく ひと・まち・自然 未来へつなぐ 共生の郷

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

第67号

令和5年8月5日発行

さ よ う

仁位山城跡でのハイキングガイド



平福川端風景ライトアップ



佐用町の暮らし 今と昔



武家屋敷マルシェでの屋敷公開



昭和49年 脚光をあびる平福
出典：『佐用偉産』



甲冑姿での上月城跡ガイド

もくじ

- ・ 第112回定例会 審議内容 2
- ・ 一般質問 10人の議員が斬り込む 6
- ・ 議会の動き（委員会報告） 17
- ・ 組合議会報告、議会の予定、編集後記 裏表紙

物価高騰対策など 町民の安心のために

6月定例会は、6月2日から23日までの22日間で開催し、報告5件、専決による条例改正、令和4年度補正予算など承認13件、財産の取得、条例の一部改正、町有財産の無償貸付け、令和5年度補正予算など議案10件、請願1件など、すべて原案のとおり可決、承認しました。また、兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙をおこないました。

議員発議の意見書は、1件を原案どおり可決、2件（継続審査1件含む）は否決しました。

一般質問は10名の議員が登壇し、質問しました。

発議

旧統一教会等による被害の防止・救済を求める意見書
(詳細はP5参照)

賛成討論

平岡 きぬゑ 議員
意見書は、安倍元総理の銃撃事件をきっかけに町民の関心が強い旧統一協会（霊感商法や多額の献金など多数の被害者をつくり出してきた団体）による被害者救済を求めるものであり賛成だ。

3月議会で委員会付託し、6月議会で委員長報告を受けたが、意見書内

容の審議が尽くされたものではないことを指摘する。

■結果 賛成少数 否決

インボイス制度の実施延期を求める意見書

インボイス制度は事業者の実務負担増や住民の暮らしと営業に深刻な影響を与えかねない。政府に対し制度の延期を要請し、十分な議論と検討を求める意見書を提出する。

反対討論

大村 隼 議員
今回のインボイス制度

このまま実施すれば混乱し、廃業する方も増えるなど、景気の動向にも大きなマイナス要素となる。日本商工会議所など多くの団体も中止や延期を求める声をあげている。

本意見書を採用し、インボイス制度の延期を強く国に求めるべきである。

■結果 賛成少数 否決

報告

令和4年度佐用町繰越明許費繰越計算書

感染症流行下における学校教育活動体制整備事業他8事業で、一般会計繰越額8697万円。公営下水道事業では、4億3800万円繰り越す。

問 農業費の主な繰越事業内容は。
答 生産コスト低減緊急

対策事業として、主に農業機械の購入に関わるもの。大豆の播種機、作業機のハローなど。



▲大豆の播種機

令和4年度佐用町水道事業会計予算繰越計算書

新型コロナウイルスの影響による、電気計装機器の入荷遅延により、電気計装設備更新工事で、3000万円繰り越す。

問 入荷遅延に関して、
答 今年度は、通常通りの入荷予定になる。

承認

佐用町税条例の一部を改正する条例

・共通納税システムの税目と支払い方法を拡充する。今回の改正で、コンビニや電子納付に対応できるように、納税者の利便性は向上する。



▲L-Tax QR

・築後20年以上が経過したマンション等に長寿命化などの大規模工事を実施した際に、翌年の固定資産税を減額する特例措置を新設する。

・大規模修繕を行ったマンションの所有者が固定資産税の減額を受けようとする場合にすべき申告について規定する。

・軽自動車税の車体課税の見直しと、特例を延長する。

・都市計画区域内において、国が定める基準に沿って土地の譲渡を行った場合、その譲渡所得にかかる町民税の課税の特例期間を延長する。

■結果 全員賛成 承認

佐用町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法と施行令の一部改正に伴う改正。後期高齢者支援金等課税額の上限を20万円から22万円に改正する。

また、国民健康保険税の減額にかかる軽減判定の基準額を改正し、5割軽減の基準額を、28万5000円から29万円に、2割軽減の基準額を52万円から53万5000円に引き上げる。また、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等の減免は、令和6年度からは国からの財政支援が行われないことになったので、申請期日を設定する。

この試算では、後期高齢者支援金等課税額の上限額が上がると、21世帯39万円の増額になる。

反対討論

児玉 雅善 議員
今回の改正は、後期高齢者支援金等税額を20万円から22万円に引き上げるなど被保険者の負担をさらに増やすものである。予算や決算の都度指摘しているが、町民の国保税に対する重税感強いものがある。

今回の改正で影響のある世帯は限られているが、これ以上の負担増は生活を直撃し、許されるものではない。

国の制度によるものではないが、町独自の救済策を講じるべきである。

■結果 賛成多数 承認

請願

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願は、全員賛成で採択しました。

議案

佐用町青少年育成センター設置条例の一部を改正する条例

上月支所内に設置されている適応指導教室の名称を教育支援センターへあらためる。

■結果 全員賛成 可決

・肉用牛の売却にかかる事業所得について、町民税を免除する期間を延長する。

・コロナ対策として実施していた固定資産税の特例減免が終了したことに伴う条例改正を行う。



▲肉用牛

問 後期高齢者等課税額の上限の引き上げの影響見込みは。
答 令和4年度課税へー

問 令和4年度繰越明許費繰越計算書
答 令和4年度繰越明許費繰越計算書

佐用町税条例の一部を改正する条例

- ・電動キックボードに関する条例改正。
- ・森林環境税および森林環境譲与税に関する改正。
- ・給与所得者の扶養親族等申告書の記載事項について一部記載を簡素化する改正等。



▲森林再生のための植栽作業

反対討論

平岡 きぬゑ 議員
来年度から森林環境税として住民税の均等割に年間1000円上乗せする法律改正に伴う改正だ。佐用町では、8031

人が課税される。住民税の所得割がかららない低所得者にも一律に均等割として負担を求めるなど逆進性が高いものだ。

国は、徴収した税を森林環境譲与税として自治体に配分する。国やCO2排出企業が引き受けるべき負担を国民個人に押し付けることは問題だ。

■結果 賛成多数 可決

佐用町印鑑条例の一部を改正する条例

マイナンバーカードの電子証明書機能をスマートフォンに搭載できるようになったことに伴う条例改正。

チェックポイント

問 マイナンバーカードの取得率は。
答 5月14日現在、76.77%。

■結果 全員賛成 可決

佐用町営定住促進住宅の一部を改正する条例

教職員住宅の戸数変更に伴い、定住促進住宅の戸数に変更が生じるため、改正する。

チェックポイント

問 これまでの利用状況と今後の見込みは。
答 今まではALTや新任の教員が利用していたが、住宅状況の変化により、今後の利用の予定がなくなった。

■結果 全員賛成 可決



▲マイナンバーカードとスマホ

工事請負契約

上月支所庁舎大規模改造工事

上月支所庁舎、上月文化会館ともに経年劣化しているため、施設の維持経費の縮減と住民の利便性の向上を図り、文化会館機能を上月支所に集約する改造工事を行う。

■契約金額 3億7895万円
■契約の相手方 姫路市下寺町101番地 平錦建設株式会社

■結果 全員賛成 可決



▲上月支所庁舎

味わいの里三日月改修工事

建物の老朽化、直売所スペースやレストランの充実が課題となっているため、和室を一般食堂に改修し現在のそば処をリニューアルするなど、建物内部の大規模改修を行う。

■契約金額 2億6950万円
■契約の相手方 佐用町真盛135番地 阿山建設株式会社

■結果 全員賛成 可決



▲味わいの里三日月

財産の取得

消防団の車両を更新

普通自動車運転免許で運転できる総重量3・5トン未満の消防ポンプ自動車を購入する。

■取得金額 2299万円
■取得の相手方 姫路市白国2丁目13番1号 株式会社 藤井ポンプ製作所

■結果 全員賛成 可決



三日月小学校のスクールバス車両を更新

平成14年に調達した29人乗りのマイクロバスを更新する。

■取得金額 966万7520円
■取得の相手方 佐用町三日月1014の7番地 福島サービス

■結果 全員賛成 可決



選挙

兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙
当選者 副町長 江見 秀樹氏

財産の無償貸付け

旧江川保育園跡地使用权の譲渡

事業承継に伴い、無償貸付先を「赤竹工房」から「SAN TAKEMOTO」に変更し、貸付期間は、前貸付先の期間を引き継ぎ、令和8年3月31日までとする。

チェックポイント

問 今回は親族への事業承継だが、第三者への事業承継の場合はどうか。
答 第三者への承継も、議会の承認を経たうえで認めていきたい。

■結果 全員賛成 可決



▲旧江川保育園

委員会付託案件の審査報告

(P2関連記事)
産業厚生常任委員会 (5/17 開催)
産業厚生常任委員長 金澤 孝良

旧統一教会等による被害の防止・救済を求める意見書

第111回定例会で継続審査となった意見書について委員7名で審査を行い、以下の発言がありました。

- ・閉会後いろいろ調べたが意見書はこの議会も提出されていない。出されていないのは訴訟を起こされるという危惧があるからではないかと思う。継続審査にした理由と同じで提出を見送り否決にした方がいい。
- ・被害者の救済に関して言えば商法であり、国も法改正で対応は出来ている。今改めて請願などの形で出されているところがない状況であるので佐用町議会としても今回は否決の方がいいと思う。
- ・被害者救済が滞るようなら、より実効性のある形にして、出す必要がある。

■結果 賛成なし 否決
討論なし
意見書の内容は議会日より66号に掲載。

一般質問

生成AIなどの新技術の導入は？

町長 ー 町民に役立つ施策の実施を検討したい



おおむら はやと 大村 隼 議員

問 佐用町でも、生成AIは自治体の業務効率化・適正化に役立つと考え...

町長 コスト面、技術面等を鑑み、現状は、現在のポ...



▲安全性のためのネットワーク三層分離αモデルイメージ図

町では、令和7年度末に国のガバメントクラウドへの移行を...

空き家対策 今まで企画防災課で対応していた特定空き家...



▲空き家バンクは、日本中どこからでも閲覧できる

町長 窓口の一本化により、迅速な対応が出来るように努めたい。...



6月6・7日、10人の議員が町政をたどりました。

Table listing council members and their questions, including names like 大村 隼, 大内将広, etc.

10人の議員が斬りこむ 町政のことが聞きたい

※記事および写真は質問をした議員から提出されたものです。質問・答弁の全文は後日会議録としてホームページに掲載しますのでご覧ください。

現行の「健康保険証」存続の姿勢を

町長 — 政府方針の「マイナカード」普及を推進



ひらおか 平岡きぬ魚 議員

問 マイナンバーカードの取得は、希望者のみ、任意が法の規定だ。国は令和6年秋に現行の保険証からマイナンバーカードに置き換える。

町長 デジタル社会に向けて国が進められている。引き続きカード取得を推進していく。佐用町の取

問 マイナンバーカードの取得率は76・77%（5月14日現在）。カードでのトラブルはない。

町長 カード申請率を地方交付税の算定基準に盛り込み普及を競わせる国の姿勢は問題だ。

問 岡山県備前市は、マイナンバーカードの有無で保育料や学校給食費無償化など、住民サービスを差別したと報じられた。

町長 他自治体の取組みについて、意見を述べることがはしない。マイナ

問 健康保険証を被保険者に届けることは町の責任だ。マイナンバーカードがない場合は、申請による「資格確認書」を発行するが、申請漏れなどで「無資格」「無保険」にならないか。また、現行の「短期保険証」や「資格保険証」は廃止することだが影響はどうか。

町長 カードで利用できる医療機関の拡充が課題



表



裏

▲世論調査は、健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一本化に反対

だ。広報などで申請漏れが無いように周知する。

問 各種手続きで従業員からカードを預かる事業者や、介護施設等管理者などの責任と事務負担な

ど問題が指摘されている。実態はどうか。

課長 現在のところ、施設関係者等から問題点は聞いていない。

獣害対策について

町長 — 各集落が主体となり協力して獣害対策を



おうち まさひろ 大内 将広 議員

問 農耕を続ける意欲のある方に小規模（個人）でも防護柵設置に補助金が出ないか。

町長 元住民による爆竹、轟音玉の追い払いで居心地が悪いと猿に認識させることが重要。

問 夏の猟友会の方の駆除に対してもう少し手当をあげられないか。

町長 暑さで猟犬が亡くなる事案も発生。負担軽減にドローンを活用した実証実験をしている。近隣市町と報奨金を同額にして不正を防ぐ必要があるため引き上げない。

問 個人の補助については、地形上やむをえない場合を除いて原則として対応していない。猿用の防護柵設置は、畑作圃場のみで個別でも対応している。猿被害は主に三河地区、石井地区、海内地区で、原因は離れ猿が増えたことによる。鳥獣被害対策として、自治体のパトロールの強化、地



▲獣害対策研修会

問 佐用町の通学路を調査して危険区域の対処を検討できないか。

町長 令和3年度に学校と警察署、光都土木事務所、町建設課、町教育課による合同点検で通学路変更や路側帯、ゾーン30路面標示、バス停移動など行なった。今後定期的に通学路の点検をする。横断歩道を付けてもらいたいと保護者から要

問 熱中症の行動変容に繋がる情報発信を伺う。

町長 佐用消防署と連携し、熱中症の予防策を広報誌で注意喚起する。夏の特定健診で高齢者を中心に熱中症含む体調管理の保健指導をする。今後も広報媒体を活用して情報発信する。

問 熱中症の行動変容に繋がる情報発信を伺う。

町長 佐用消防署と連携し、熱中症の予防策を広報誌で注意喚起する。夏の特定健診で高齢者を中心に熱中症含む体調管理の保健指導をする。今後も広報媒体を活用して情報発信する。



▲熱中症の症状



▲ゾーン30による通学路対策

熱中症対策の推進について

問 通学時の熱中症対策と熱中症警戒情報時の対応を伺う。

町長 令和元年度、小中学校における熱中症予防指針を作成、暑さ指数計測器配付、適時休憩や水分補給をさせている。通学時、涼しい服装、帽子、日傘、ネッククーラーを認めている。

望があれば検討する。

必要に応じて高齢者などリスクの高い人達の啓発活動をする。

牛舎整備は白紙か

町長 一 事業は継続する



ひろかが かずし 廣利 一志 議員

問 会議に金融関係者を入れるべきだ。和牛改良

課長 なかった。

問 会議では飼料高、電気代の高騰などで事業開始を待つべきという意見はなかったのか。

課長 普及センター、JA、農林振興課、和牛改良組合で昨年4月から開催してきた。

問 2回の説明会で住民の大半は、牛舎計画に反対との意思を示されたが、白紙になったのか。

町長 事業は継続する。白紙になっていない。

問 普及センター、町などとの牛舎に関する会議はいつから開催か。

課長 普及センター、JA、農林振興課、和牛改良組合で昨年4月から開催してきた。

問 会議では飼料高、電気代の高騰などで事業開始を待つべきという意見はなかったのか。

課長 普及センター、JA、農林振興課、和牛改良組合で昨年4月から開催してきた。

問 2回の説明会で住民の大半は、牛舎計画に反対との意思を示されたが、白紙になったのか。

町長 事業は継続する。白紙になっていない。

問 普及センター、町などとの牛舎に関する会議はいつから開催か。

課長 普及センター、JA、農林振興課、和牛改良組合で昨年4月から開催してきた。

問 会議では飼料高、電気代の高騰などで事業開始を待つべきという意見はなかったのか。

課長 普及センター、JA、農林振興課、和牛改良組合で昨年4月から開催してきた。

問 2回の説明会で住民の大半は、牛舎計画に反対との意思を示されたが、白紙になったのか。

町長 事業は継続する。白紙になっていない。

問 普及センター、町などとの牛舎に関する会議はいつから開催か。

課長 普及センター、JA、農林振興課、和牛改良組合で昨年4月から開催してきた。

問 会議では飼料高、電気代の高騰などで事業開始を待つべきという意見はなかったのか。

課長 普及センター、JA、農林振興課、和牛改良組合で昨年4月から開催してきた。

物価高騰対策について

町長 一 国が示した推奨メニューなどから立案



こうだ かつじ 幸田 勝治 議員

問 物価高騰の対策が全国的に実施されたが、自治体ごと、住む場所により、不公平感があるように感じられる。

町長 地方創生臨時交付金について、全般的に事業採択する際の過程と基準、町の基本方針は。

国の交付金で各自治体を実施した特徴的な支援策	
大阪府	18歳以下に1万円分プリペイドカード
京都府	未就学児に5千円分図書カード
兵庫県	ヤングケアラーや子ども食堂など支援
神戸市	新生児に5万円
姫路市	18歳以下に1万円
芦屋市	児童手当対象の15歳以下に3万円
南あわじ市	島外で暮らす出身の若者に特産品届ける
宍粟市	冬季の生活支援のため1世帯に5千円
佐用町	18歳以下に5万円
香美町	1世帯に1万円分のガソリン券

問 判断せざるをえない。地域の色々な方に伺っての決定は難しい。

町長 学校給食無償化は。給食費は他の自治体が行う以前から半額支援してきた。地産地消、町内での加工品、安全な食材提供等支援している。ある程度は子育ての一端として、親の責任という思いがある。

問 物価高騰対策で事業者のメリットは。

課長 地域交通運行支援事業で路線バス事業、地

いて、物価高騰対策により、増額された交付金の趣旨や国から示された事業推奨メニューなどで、事業立案を行い必要な支援策を決定。

問 地域づくり協議会、集落の意見の反映は。

町長 国の推奨メニューだけにこだわるわけではないが、限られた予算で公平

判断せざるをえない。地域の色々な方に伺っての決定は難しい。

学校給食無償化は。給食費は他の自治体が行う以前から半額支援してきた。地産地消、町内での加工品、安全な食材提供等支援している。ある程度は子育ての一端として、親の責任という思いがある。

農家の肥料高騰対策について

問 農家の方から肥料が高くなって苦しいと聞く。肥料高騰対策は。

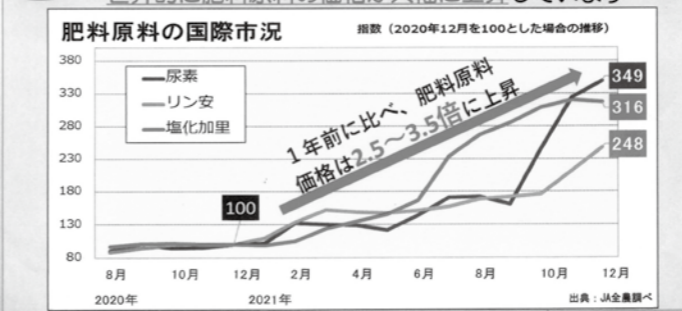
町長 ロシアのウクライナ侵攻等の影響により肥料価格が大幅に急騰しており、国において肥料価格高騰対策事業を実施している。昨年の秋肥の実績として122名に160万円余

域鉄道事業者支援で340万円。医療機関、社会福祉施設等の物価高騰対策事業で604万円。農業者肥料価格高騰対策支援事業で255万円。

りの支援金が交付されている。本年の春肥については現在取りまとめ中である。町では化学肥料の低減と、有機肥料の活用促進のため、町内で製造・販売される有機肥料等の購入額の半額を220名に255万円を助成した。

肥料の価格が値上がりしています

POINT 1 穀物需要の上昇などから、肥料の需要が高まっており、世界的に肥料原料の価格が大幅に上昇しています



▲駅を目的地に 太市駅の駅舎がレストラン



▲マイルール意識の向上へ 播磨徳久駅の美化整備の様子

姫新線の存続の決意は

問 佐用高校の定員割れで姫新線の利用はどれだけ減少するか試算は。

町長 4〜5万人の減少になる。

問 県への要望は。

町長 まず佐用高校の存続をお願いしている。

問 生徒数確保のための魅力度アップ策は。

町長 地域と高校の協働による輝く人づくり支援事業を実施している。特色ある学びの場として高校の魅力度が向上し、進学先として選択してもらうことを期待している。

ウイズコロナ、ポストコロナへの取り組みは

町長 — 感染対策と社会経済活動の両立を目指す



たかみ かんじ 高見 寛治 議員



おかもと よしとく 岡本 義次 議員

提案制度の設置を望む

町長 — すでに実施している

問 どうすれば町が良くなるか、職員間で情報共有し、各部署から提案させる制度を設置してはどうか。既に取り組んでいるのなら現状は。

町長 提案制度として政策調整会議や政策決定会議を設置し、予算化対象となった新規事業は令和3年度9件、4年度10件、5年度13件。

問 各課の成果について、庁舎内会議に諮りランクをつけ、賞与に反映する制度の導入を検討しては。

町長 ひまわり祭り、佐用ふるさと納涼夏まつり、三日月日限地蔵尊、大収穫祭、サイクリングイベント「いなちく」などの集客、観光イベントについては、コロナ禍前の規模での開催に向けて準備を進めている。

問 行事やイベントについての取り組みは。

町長 ひまわり祭り、佐用ふるさと納涼夏まつり、三日月日限地蔵尊、大収穫祭、サイクリングイベント「いなちく」などの集客、観光イベントについては、コロナ禍前の規模での開催に向けて準備を進めている。

役場職員は優秀であり、個々の職員が提案することで、今の2倍くらい町が良くなると思う。

町長 全職員を対象とした人事評価制度を既に導入し、評価結果は賞与のうち勤労手当の支給率に反映させている。

人材育成の体制について

問 人材育成について、町では具体的にどのような体制、対策を実施しているのか。

町長 新入時の研修や県主催等各研修をしている。町長は長期にわたりトップとして何もかも理解されており、全員協議会や各委員会では全て町長が答弁される。各課長は町長が答弁してくれるという雰囲気であるが、各課長に発言させて育てるべきでは。

町長 議会や委員会で、議員からの質問にまずは町長が答えるというのは町長の責任、職務である。

町営住宅の管理について

問 空き室が多くあると聞いているが、空き室の状況と規則・基準と関連性があるのか。

町長 関連性はない。町営住宅を退去する時に畳の表替えや壁の塗装費用等を退去者が全て負担すると聞か。

各課長はその方針を理解した上で職務の執行にあたっては。

Jアラートについて

問 Jアラートが発令された時、国も新幹線を止めている。佐用町ではどこに避難すればいいのか。周知はどうしているのか。

町長 町には地下鉄の駅もなく、できるだけ頑丈な建物に避難してほしい。



▲空室のめだつ町営住宅



▲Jアラートが鳴ればここへ逃げこもうかな

い地域づくりとまちづくりにつながっていくと考える。この理念を実現していくため新たな事業展開と共に、自主性を尊重した各種団体の活動支援に取り組む。

開と共に、自主性を尊重した各種団体の活動支援に取り組む。



▲盛況だった今年の桜まつり

佐用町における環境問題をたず

町長 — 責任をもってやれる事をやっていく



やまもと みきお
山本 幹雄 議員

問 佐用町の大切な環境を守る、不法投棄を許さない対策が必要ではないか。住民から相談を受け、不法投棄の現場を見に行くにあたりにも酷く、広範囲に散らかっている。タイヤ、家電製品など、かなり大きなものまで投棄されている。またある集落では国道沿いの収集活動に伴いかなり大きな木まで伐採している。この不法投棄に大木の伐採処理までを集落で行うには限界がある。行政に話をして地域づくり協議会で対応してほしいと言われるだけであったと聞いた。補助金の対応はで

きないのか。道路沿いにネット等を設置できないか。隣県と協議し対策を練れないか。収集した不法投棄物を、責任をもって行政が回収してもらえないか。
町長 不法投棄は法律で厳しく禁止されている。補助金について、制度はないが自治会、関係団体と協議し、資材等に加人的支援も行っていく。ネット等の設置については不法投棄されやすい場所はフェンス等の設置も検討させる。隣県と協議し、防犯カメラの設置については進めていく。

その上で地域づくり協議会で包括交付金の追加も検討する。収集した不法投棄物は行政が責任をもって収集してもらえないかという事については、クリーンセンターの職員が収集場所まで出向き回収している。
問 不法投棄は1000万円以下の罰金、また、5年以下の懲役。一番効果があるのは不法投棄者を検挙することである。警察とも連携していく。
町長 ある地区で不法投棄に絡み国道沿いの大木を伐採し、処理をしている。あまりにも危険で、行政



▲不法投棄されている大量の廃棄物の一部



▲地域住民による活動の様子

で踏み込んだ対応は出来ないか。
町長 町としても行政の責任の範囲でやれる事はやっていきたい。

「縮充」まちづくりのアクションプランは

課長 — 委員会設置や研修会開催で推進



ちくさ かずひで
千種 和英 議員

問 「縮充」をキーワードにした新たな協働のまちづくりは、縮みながらも地域の営みや住民の生活が充実した地域社会を創るという考え方が、具体的な取組みを町民の皆さんに伝え活動につなげるためのアクションプランの作成や広報が必要だと考えるがどうか。
町長 人口減少や少子高齢化が進み地域の担い手不足が深刻さを増す中、これまでの仕組みや制度、考え方を見直し、変え

ていくことが町全体の持続可能性を向上させるのではないかと考える。
問 アクションプランが必要では。
課長 全国的にも先進的な取組みで、まちづくり推進会議では研修を行い、まちづくり部会では検討委員会を設置し、地域では(仮称)未来会議を開催し子どもたちの意見を聞きたい。行政では戦略会議を立ち上げる。
問 住民生活においての充実とはどう考える。

町民の皆さんが将来を一緒に考え、現状を理解していただき、取組みに参加いただくということ。
問 参加していただきたい。教育分野においての縮充とは。



▲山崎亮氏著 「縮充する日本」

タクシー料金値上げに伴う支援の拡充を

問 5月末から、タクシー料金が引き上げられたが、タクシー運賃助成事業の支援の拡充は考えられないか。
町長 現在、この事業への年間助成額は、昨年度約1400万円となっ



▲さようみん活フォーラム

教育長 教育の最終目的は社会的な自立で、地域と連携した学校教育が、重要であると考ええる。
問 専任アドバイザーの役割や提唱者の協力は。役割や提唱者の協力は。社会的な自立で、地域と連携した学校教育が、重要であると考ええる。
副町長 縮充の提唱者である山崎亮氏への協力依頼も考えている。



こだま まさよし
児玉 雅善 議員

自衛隊員の募集、情報提供の実態は

町長―閲覧で提供している

問 自衛隊員募集に係る資料提供の内容と方法は、

町長 18歳になる男女について、氏名、住所、生年月日、性別を画面上で閲覧させている。

問 町内から自衛官等になる人は何人くらいか。

課長 自衛隊は例年120名くらい閲覧し、募集チラシを送っているが、反応はほとんど無いと聞いている。令和元年度は2名、令和2年度は1名、令和3年度は1名が入隊している。

畜産クラスター事業の経緯は

問 畜産クラスター事業は今年度予算の目玉事業だが、予定候補地の住民の皆さんは反対していると聞いている。経緯と今後この事業をどう進めるのか。

町長 3月1日に地権者を訪問し説明、半数以上から賛同してもらった。3月19日、地元住民の皆さんに概要を説明し、4月16日、地元説明会で意見交換。翌日、自治会長から集落として受け入れできないとの返事があった。

この事業は町としても進めていくべき事業であり、新たな候補地を模索している。

問 今年度4600万円、来年度2億5000万円の予算が見込まれている。

実質町負担はいくらくらいか。

1の補助があり、併せて県の補助がある。



▲飼育中の神戸牛

問 利神小学校の跡地は昨年10月の全員協議会で優先交渉権者に(株)JIA(ジエイアイイー)に決定したとの報告があったがその後の経過は。

町長 昨年9月の二次審査後、長谷地域づくり協議会から事業者あて質問書が町に提起されたが、質問状を取り次ぎしかねると回答した。

問 地元への説明はどういう範囲の人にするのか。

課長 6月22日に旧利神小学校区の皆さんに説明会を開催する。

問 グラウンドなどに太陽光パネルを設置することはないのであるか。

副町長 グラウンドに太陽光パネルを設置する許可を町が出すことはない。



▲旧利神小学校

利神小学校跡地活用

議会の動き

総務常任委員会 (5/25・6/12) 産業厚生常任委員会 (5/17)

総務常任委員会 委員長 廣利 一志

■姫新線存続に向けて

企画防災課から、姫新線の利用促進に取り組む「姫新線利用促進・活性化同盟会」について説明を受けました。

同盟会は平成22年に設立され、兵庫県、JR西日本、姫路市、たつの市、佐用町で構成されています。年間300万人乗車を目標に、利用促進キャンペーン、イベントの企画・実施等の活動を展開しています。

平成27年に目標を達成し(301万人)、令和元年度まで5年連続目標を達成しました。

令和2年度以降はコロナ禍で目標を下回りましたが、播磨新宮駅〜上月駅間に限れば、少子化による高校のクラス減や沿線人口の減少を考慮す

ば健闘している状況です。令和4年度からは、JR西日本による赤字ローカル線の収支公表を受けて、兵庫県が設立した「JRローカル線維持・利用促進検討協議会」で検討された利用促進策の実施主体として事業を展開しています。国、県及び姫路市を中心とした播磨圏域との連携強化が急務です。



▲たつの市民まつり
姫新線ブースでの車掌体験

委員からは事例として、太市駅周辺地域活性化の取組みとして、令和3年に姫路市、JR西日本、地元自治会、関西陸運(株)の4者が連携し、関西陸運(株)の社屋と一体となった駅舎の建設

や駅前広場等の整備についての紹介と、社屋1階にはカフェ・レストランを設け、早朝からにぎわっている様子の紹介がありました。

■DX改革の進捗状況の確認

情報政策課から、次の説明を受けました。
令和4年度の実績は、佐用町DX推進本部の設置し、基本方針や推進計画の策定、実施事業の決定、進捗状況の管理などを行う。

神戸市から講師を招き、階層別の研修会を実施。コンビニ交付サービス導入事業、アフターコロナ観光振興事業、森林CTタブル化事業、議会タブレット導入事業などを実施。
令和5年度は、行政手続のオンライン化の充実、最高情報統括責任者(CIO)補佐官の任用

産業厚生常任委員会 委員長 金澤 孝良

■畜産農家の現状調査

令和5年5月17日委員7名で佐用郡和牛改良組合の組合長を務められる盛本さんの畜舎へ視察に伺いました。

上町の飼育牛舎では約50頭を飼育され、西山の繁殖牛舎では、人口授精師の資格をもたれている盛本さんが種付けから出産、飼育を行われています。

また、才金には牛糞を熟成させるための施設を持ち農家へ有機肥料として提供されています。
兵庫県ブランドの但馬牛の中でも最高の和牛を育てるために、牛のストリスを除くための工夫や飼料の研究なども行われています。

神戸ビーフとして東京のレストランと提携され、佐用産の但馬牛としての地位を確立されています。今後も畜産農家として最高の和牛を飼育していくこと、若者が畜産業の魅力を感じて後継者になってくれることを強く望まれています。




▲上町牛舎で盛本さんの説明を受ける

一般質問の録画・インターネット放映

佐用チャンネル 9月議会の一般質問の模様は10月に2回に分けて録画放映します。

6月の一般質問は7月に放映しました。
インターネットでいつでもご覧いただけます。

佐用町の公式ホームページから、佐用町議会をクリックしていただき、

一般質問の録画映像 を  クリックしてご覧ください。

9月定例会の予定

- 4 (月) 本会議
 - 5 (火) 決算特別委員会
 - 6 (水) 決算特別委員会
 - 11 (月) 総務常任委員会
 - 12 (火) 産業厚生常任委員会
 - 13 (水) 一般質問 (予備日)
 - 14 (木) 一般質問
 - 15 (金) 一般質問
 - 22 (金) 本会議
 - 28 (木) 本会議
- ※一般質問の模様は佐用チャンネルで放映します。

組合議会報告

西はりま消防組合
(6月26日開催)
組合議員 廣利一志

臨時議会が開催され、
全議員賛成で承認・同意
・可決しました。

承認
専決処分

西はりま消防組合職員
の特殊勤務手当に関する
条例の一部を改正する条
例。

議案

財産の取得 他1件
災害対応特殊水槽付消
防ポンプ自動車1台更新
・取得金額
8195万円
・納入場所
佐用消防署

議会役員の変更

副議長
中島 貞次氏 (太子町)
監査委員
三浦 隆利氏 (相生市)

表紙写真によせて



この国指定から町内全域で未来伝承プロジェクトを推進

昭和49年の平福での景色、佐用川沿いに連なる川座敷や土蔵群などです。独自の街並み景観を撮影するために多くの観光客の方がカメラを構えています。町内には多くの史跡・旧跡があります。議会では、令和元年度に、「佐用の歴史と文化を磨く未来伝承プロジェクト」の策定を承認し、伝統を次の時代へつなぐ取組みにも注目しています。「守る」ことはもちろんのこと「活かす」がキーワードです。

国史跡指定を受けた利神城跡をはじめ、上月城跡、乃井野陣屋、仁位山城跡等それぞれの地域で住民の皆さんが主体となりライトアップ、集客イベント等を開催されています。また、観光ガイドの取組みは、昔の観る観光から体験型の観光を求められる観光客の皆さんのニーズに合致し、とても人気があります。今後、議会としても町当局と協力し、文化財保護と観光振興が両立できる、そして住民の皆さんが活躍できる地域活動を応援させていただきます。

写真・文 千種 和英

編集後記

新型コロナウイルスが世界に脅威を与え始めて3年8カ月が経ちました。3密の防止、マスクの着用等の感染防止対策や6回のワクチン接種で感染状況は落ち着きましたが、まだ増加しているのが皆さんお気づきください。厳しかったコロナ禍を経験して、ウィズコロナの中で、社会、経済、地域活動が復活することが望まれます。議会としても、みなさんの声を聴かせていただき、しっかりと支援に取り組みが必要があると感じています。夏真っ盛り、十分に体調管理をして乗り切りましょう。

高見 寛治

議会広報特別委員会

- 委員長 千種 和英
- 副委員長 大内 将広
- 委員 大村 隼
- 委員 森脇 裕和
- 委員 高見 寛治
- 委員 加古原瑞樹

